

幼児編  
テーマ3

## 子どもの「おやつ」

ねらい

子どものおやつの役割や発育を考えたおやつの種類、食べさせ方などについて考える。

1. どんなおやつを食べていますか。いつ、どれくらい食べさせていますか。

「子どもの好きなおやつ」「親が与えたいおやつ」「食べる時間帯」

＜参加者の意見を引き出す発問例＞

- ・何を、いつ食べさせていますか。
- ・おやつを選ぶ時（決める時）は、何を考えて選びますか。
- ・市販のおやつはどのような物（スナック菓子、飴、チョコレート等）を食べたがりますか。
- ・手作りのおやつ（お菓子等）は良く作りますか。

＜想定される意見＞

- 午後3時頃に市販のお菓子を親子で一緒に食べている。
- あまり深く考えて選んでいない。
- 夜は甘いお菓子を食べないようにしている。
- 子どもと約束をして量を決めて食べるようになっている。

2. おやつを食べる時、気になることや工夫されていることは何ですか。

「健康面」「食事（朝・昼・夜）とのバランス」「兄弟姉妹との食べさせ方の違い」

「祖父母等が親の意志に反して食べさせたりすること」

＜参加者の意見を引き出す発問例＞

- ・健康面（食べ過ぎたり、虫歯になったりすることなど）で気になることはどんなことですか。
- ・子どもと一緒に手作りしたことはありますか。また、どんなおやつを作ってみたいですか。
- ・おやつの与え方（種類、与える時間）で工夫していることはありますか。
- ・兄弟姉妹で与える量についてはどのようにしていますか。
- ・子どもの健康を考え、家族で注意していることなどはありますか。

＜想定される意見＞

- 市販の物はあまり、健康には良くないと思っているが、どうしても食べさせてしまう。
- 一袋をそのまま渡すのではなく、小分けにしている。
- おやつは食べるが食事はあまり食べてくれない。
- お腹がすいて、夕食ができあがるまで待てないのでついついお菓子を与えててしまう。
- 甘い物や糖分を多く含んでいる物を与えすぎないようにしている。
- 市販の製品を購入する場合には、含まれている成分を確認し購入している。
- 夜は、子どもの前で大人も食べないようにしている。
- 週末など時間のある時は、親子でお菓子づくりに挑戦している。

## ＜進行例＞ ※60分の場合

	時間	参加者の活動	進行役の活動（発言・留意点等）
導入	5分	テーマ・内容を確認する	・本日のテーマ・内容を伝える ・進行役個人の見解に基づくアドバイスは避ける
	15分	・アイスブレークとグループ分け ・グループ内での自己紹介	・4人組～5人組のグループをつくる ・グループの代表者等を決める
話し合おう・考えよう	3分	ワーク1について各自が記入する	話し合い① 「どんなおやつを、いつ、どれくらい食べさせているか、書いてください」
	8分	意見交換① グループ内で各自が書いた意見を順番に発表する	「グループの代表者の司会で順番にグループ内で発表しましょう」 ・代表者から右回りで、あるいは左回りの順に
	6分	グループ発表① 各グループの発表者がその場で発表する	「グループの発表の方は出された主な意見を発表してください」 ・出された意見をホワイトボード等に書く（各グループで共通している意見や回答、キーワードとなるような言葉を探す）
	3分	ワーク2について各自が記入する	話し合い② 「おやつを食べる時、気になることや工夫されていることを、自由に考えて書いてください」
	8分	意見交換② グループ内で各自が書いた意見を順番に発表する	「グループの代表者の司会で順番にグループ内で発表しましょう」 ・代表者から右回りで、あるいは左回りの順に
	6分	グループ発表② 各グループの発表者がその場で発表する	「グループの発表の方は出された主な意見を発表してください」 ・出された意見をホワイトボード等に書く（各グループで共通している意見や回答、キーワードとなるような言葉を探す）
ふりかえり	6分	今日の話し合いの感想や気がついたこと、参考になったことなど ワークシートに書いたり、直接、意見を発表し合ったりする	「今日のワークの感想を発表しましょう」 ・参加者に感想を求めてよい